

雲の上のまち



大報

ゆすばら



「うわおー!西宮」 栲原町文化協会 合同ステージ(詳細は7ページ)

第22回 平和の礎に感謝する集い <P2~3>

第50回 栲原町高原まつり <P4~5>

矢崎総業株式会社 国内サマーキャンプin栲原 <P6~7>

体験合宿(栲原学園 4年生) <P8~9>

桃源だより Vol.23 <P10~11>

etc...

9 2017
〈平成29年〉
No.711
月号

●世帯数/1,824 (7月末)
1,826 (8月末)
●人 口/3,627 (7月末)
3,636 (8月末)
○出生… 2 ○死亡… 2
○転入… 15 ○転出等… 6



第22回 平和の礎に 感謝する集い

今年も終戦記念日である8月15日(火)に、ゆすはら・夢・未来館で「第22回平和の礎に感謝する集い」を開催しました。

当日は、遺族の方々をはじめ、須崎福祉保健所長上岡啓二様、高知県遺族会副会長伊与田仁美様、衆議院議員石田祝稔様ほか、町議会議員や町内各種団体の役員など、大勢の参加をいただき、戦没者の御霊に対しご冥福と恒久平和を祈願いたしました。

町長は追悼の言葉を述べたうえで、「戦後、私たち国民は、一人ひとりが戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく、未来へと語り継ぎ、希望に満ちた心豊かな社会の実現を目指して、努力を続けてまいりました。

しかし、国内におきまして、家族同士の殺人事件や障がい者及び児童虐待など、想像を絶する悲しい出来事が絶え間なく起こっており、日本人が大切にしてきた、家族を思い、地域を思う「人と人の絆」が薄れ、人の尊厳、思いやる心が失われていることに、心を痛めているところがあります。今なお多くの人々が傷つき、多くの尊い命が犠牲となっており、恒久平和への道のりは遠く険しいことを

痛感せざるを得ません。

あらためて、8月15日という日を忘れることなく、「核兵器のない世界」そして「戦争のない社会」の実現に向けて、戦争の悲惨さを再認識し、未だにその苦悩の日々をおくる方々の生きることの重さを、しっかりと受け止めて、未来に向けて伝えながら、平和、安全の言葉を今一度心に刻み、これからの日本の生き方を国民みんなですっかりと議論する時であると考えております。

私は、そうした時こそ本町の将来をしっかりと見据え、人と人の絆を大切に、健康、環境、教育、産業、文化、暮らしの六つの言葉をキーワードに、梶原の生きる仕組みであります梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に実行するために、町民みんなで支え合う梶原ならではの、生きる仕組みづくりに取り組んでまいります。

先人は、時代の変化をしっかりと捉え、決断と実行を繰り返し、着実に「ゆすはら」という、地域社会をつくり続けてまいりました。

今、再び「ゆすはら」を取り巻く「人」の流れが、大きく変わりはじめました。私は、その「人」を大切に、この「ふるさと梶原」

が絶えることなく、オーストリアの作曲家が語られました。「伝統とは、消えた灰を崇めることではなく、あかあかと燃える松明を引き継いでいくことだ」との言葉のとおり、誇りと自信を持って未来に引き継いでいく決意であります。」

(一部抜粋)

と結び恒久平和を誓いました。また、梶原学園9年生二宮生好さんが『私たちの使命』と題し、神風特攻隊について調べたことを発表しました。

「神風特攻隊とは、爆弾を搭載した航空機や爆薬を装備した高速艇等で乗組員ごと目標に体当たり攻撃をするという戦法です。これによって20歳前後の若者が国のためにと出撃命令を出され、亡くなりました。」

「特攻隊員からの手紙」です。これには今まで大切に育ててくれた家族への感謝の気持ちや、後に残された母親や兄弟を心配する言葉、恋人がいる人であれば、これからたくさん幸せになつて欲しいという気持ちや、心から愛しているという言葉が書き綴られています。私はこの手紙を読んだ瞬間、思わず涙が出ました。もう二度と会うことができないう大切な人に宛てた最後の手紙は一言一言が重たく感じ、誰よりも戦争を憎み平和を望む気持ち伝わってきました。自分の意思とは違っていて、愛国心と古い価値観、互いを見張り合う世間により、戦争を恐れれば非国民だと騒がれた時代に、特攻しなければ家族までもが戦争に巻き込まれてしまうという切羽詰まっていた思いで、国に命を捧げていったといえます。

今でも世界中のどこかではまだ戦争が行われているという現状があります。

私たち若者はもちろん戦争を経験している世代ではありません。しかし、戦争の恐ろしさや二度と起こしてはいけ

ないということはいくぶん分かります。自分たちが今当たり前のように食事をし、勉強をし、家に帰れば家族がいることは、本当に幸せなことだと思つて、国や家族のために命を捧げていった方々の分も、一瞬一瞬を大切に生きていくべきだと思います。

戦争を経験していなくても戦争の怖さや恐ろしさを知ることとして持っていること、二度と戦争が起こらない世界を創ることも大切なことだと思いません。そのために、私は身近なお年寄りやひいおばあちゃんから戦争当時のことを聞き、他の人や未来の子どもたちにも語りついでいきたいと考えています。

近い将来、戦争がなくなり、みんなが穏やかで平和に暮らせる世界になることを強く願っています。」 (一部抜粋)

と平和への誓いを朗読し、参加者全員で恒久なる平和を願う献花を行いました。

10月の保健福祉支援センター行事予定

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 2日(月) げらげら家族会 | 17日(火) 愛育相談 |
| 4日(水) 松原サテライト | 18日(水) あゆみの会/人権・行政相談 |
| 6日(金) 初瀬いきいき | 19日(木) 越知面デイ友の会/四万川宅老所 |
| 10日(火)~12日(木) 女性検診(和田城) | 20日(金) 東区いきいき |
| 11日(水) 四万川いきいき | 26日(木) 西区いきいき(合同) |

- 毎週水曜日…予防接種 (四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)
- 毎週水曜日…育児サークル (支援センター4F 講義室)
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お母さんだけでもOK。是非参加してください。お待ちしております。
- 月曜日~金曜日…子育て世代包括支援センター (支援センター1階)
※育児や子育てなど、相談がありましたら気軽においでください。(TELでも構いません。☎65-1170までお願いします)
- 川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…24日(火)、25日(水) ※月2回になりました。
※相談希望の方は、健康増進係または子育て世代包括支援センター (☎65-1170) までお願いします。
- ゆすっ子相談センター相談日…3日(火)午後、10日(火)午後、17日(火)午後、24日(火)終日



石原詢子歌謡ショー

第50回梶原町高原まつりが行われました。

本年は、空模様が気になりながらの開催となりました。14日(月)は、曇ったり少し薄日が差したりでしたが、梶原学園グラウンドにて、町長旗争奪ソフトボール大会が、午前8時から開始され無事に全試合終了することができました。朝から和気あいあいとは言いながら闘志満々も秘めつつ、各チーム白熱した試合を繰り広げました。選手の皆さん、毎年梶原にお帰りなさい。そして、ありがとうございました。

午後6時から、高原まつり前夜祭、会場は総合庁舎駐車場で開催しました。

ステージでは、当日行われた町長旗争奪ソフトボール大会の表彰式を行いました。本年度、栄えある優勝は役場チームです。矢野富夫町長から優勝旗、表彰状、第50回記念の特別な副賞が授与されました。

今年の前夜祭は盛りだくさんでした。オープニングは、梶原学園音楽部の皆さんによる吹奏楽の演奏です。自分たちで、一曲一曲紹介しながら、元気いっぱいこれまでの練習の成果を、余すところなく発表していただきました。その



町長旗争奪ソフトボール大会開会式

力いっぱい楽曲は、山々に響きわたり、会場の皆さんの拍手は、温かさに包まれていました。

二番手は、梶原高校ダンスクラブの津野山神楽です。今年、宮城県で開催された全国総合文化祭・郷土芸能部門に出場されています。前夜祭での舞は「山探し」でした。

盛りだくさんの前夜祭は、続いてオカリナクラブの皆さん、夏の夜に澄んだ音色が響きました。チェロとオカリナが一体となつて、心が洗われるような爽やかで優しい演奏の数々ありがとうございました。

次は、「チーム梶原」による、よさこい鳴子踊りです。今年も、

八百万の神に感謝を込めた、華やかな踊りをご披露いただきました。よさこい祭り本番では、「地区競演場連合会地方車奨励賞」を受賞されています。

続いては、フラダンス。真夏の宵にぴったりの、明るく、美しく、美しくと、山合いの会場を常夏の楽園のような雰囲気に取りこみましました。

続いては、梶原高校1年生の林裕輝さんの演歌のステージです。羽織袴の登場で祭りに相応しい力強い歌声をご披露いただきました。

前夜祭最後を飾るのは、二年連続スペシャルゲスト、「ジャアバーボンズ」の皆さんです。ポップで力溢れる歌と演奏は、瞬く間に会場を一つにしてしまい、会場全体が大きな波のようにパワー全開。暑い真夏の夜を吹っ飛ばすようなステージでした。

15日は朝から怪しい雲行きにテントの準備もしましたが、屋台も着々と店開きしながら祭り情緒も高まってきました。

4時45分からは、鴨子踊りパレードです。

毎年、かわいい踊りを披露しているこども園の皆さんは、朝からの雨のため止む無くパレードの参加は取りやめました。しかしなが

ら梶原学園の皆さん、役場チーム、今年も須崎市のよさこいチーム「すさき〜真実(まこと)〜」の皆さんが応援に駆けつけていただき、時折降る雨を吹き飛ばすように元気いっぱい踊っていました。最後は、「チーム梶原」の皆さんが、個性溢れる素晴らしい踊りをご披露いただきました。

午後7時いよいよよふさとまつりスタートです。井上アナウンサーのさわやかなトークで始まり、矢野富夫実行委員長の挨拶後、前半は、「う〜み」さんのステージ。梶原大好き、いつも元気なう〜みさん。楽しいおしゃべりも交えながら歌っていただきました。歌声は、本当に清々しく会場は優しさで溢れていました。

いよいよ「石原詢子歌謡ショー」の始まりです。ステージ後方の階段から石原さんの姿が見えると割



う〜みさん

れんばかりの拍手です。石原さんの会場を巻き込んでの軽妙なトークは優しさや親しみが込められ場内は笑い声で溢れ、次々披露されるすばらしい歌声に聞き惚れるひとときとなりました。矢野町長からの花束と梶原特産品セットと梶原の木のかきの贈呈でステージも大詰めを迎える中、最後の曲を歌って、最高の盛り上がりで終了しました。

ステージの興奮冷めやらぬ中、井上さんのカウントダウンとともに午後9時、花火が上がりました。次々打ち上げられる大輪の花に、歓声や拍手が飛び交う中、今年の高原まつりは終了しました。

今年も、町組、川西路、飯母の皆様、建設協会の皆様、警備担当の消防団の皆様、各種団体の方々大勢の皆様を支えられて、真夏の祭典は無事終了いたしました。又、たくさんのご協賛を賜っておりま

す。ご協力くださった皆様に心から感謝申し上げます。今年も50回と節目の開催でした。又新たな気持ちで取り組みたいと存じます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

高原まつり実行委員会事務局
梶原町商工会



ケーちゃん

ハロウィンジャンボ5億円

(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ

(1等3千万円・前後賞各1千万円)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

10月11日(水) 2種類同時発売! (各1枚 300円)

発売期間 10/11(水)~10/31(火)

公益財団法人高知県市町村振興協会



九十九曲峠での記念撮影

今年で8回目を迎えた矢崎総業株式会社国内サマーキャンプ栲原が8月1日(火)から4日間の日程で、栲原町内で開催されました。

今年は、台風の到来も予想されましたが、行程に関しては、一部変更があったものの概ね天候に恵まれ、無事に終了することができました。

サマーキャンプは、矢崎総業株式会社の従業員の5・6年生の子供たちを対象として開催されています。また、各班の指導員(従業員)の研修も兼ねた取り組みとして行われており、「ゆすはらの自然環境体験、地域交流」を目的としております。

今回は、子供たちが131名、事務局等を合わせて総勢160名が来町されました。

行程の内容は、宮野々九十九曲峠で、矢崎総業株式会社と森林整備協定を締結している、町有地内の森林学習と散策、下西の川での川遊び、紙すき体験、ゆすはらペレット工場・栲原町森林組合・四国部品栲原工場の見学等を行い、森林の機能・役割を学習するとともに、栲原の自然及び環境を肌で感じていただきました。予定しておりましたよさこい踊りにつ



紙漉き体験

いては天候不良により練り歩きは中止となりましたが、体育館での体験という形で実施し、子供たちをはじめ、事務局の方々も楽しんでいただくことができました。

特に、子供たちが一番楽しみにしている川遊びは、天候に恵まれ大盛況でした。子供たちは思い思いの岩から飛び込んだり、魚を追いかけたり、時が経つのを忘れて、清流の良さを感じていただき、地域の住民や通りすがりの方も、水辺での歓声に、思わず昔を思い出すかのように、足を止めていました。



川遊びの様子

今回も子供たちの食事は、地域の食材を提供しました。梶原でしか味わうことのできない味に、参加者一同満足していただきました。

3泊4日という日程の中で、参加者それぞれが、梶原の自然を体験し、地域との交流という目的を達成し、思い出として心に刻んだことだと思えます。来年も梶原で開催されることをお互いが願い、梶原をあとにしました。

最後になりましたが、このサマーキャンプの開催にあたり、各種団体や地域の皆様に多大なご協力いただきましたことに、心からお礼申し上げます。

「うわおー！西宮」と 梶原町文化協会合同ステージ



浪曲を熱演される河野氏

8月22日（火）、友好姉妹都市を締結している西宮市から「うわおー！西宮」さんが来町し、梶原町文化協会さんとの合同ステージをゆすはら座で行いました。「うわおー！西宮」さんは「うたおうわらおうおどろう」をテーマに結成されました。今回は「うわおー！西宮」さんよりお話をいただき、梶原町文化協会との文化交流が実現しました。

当日は平日ではありませんでしたが、仕事終わりの方など、延べ131名の方がお越しくださいました。

栗倉甲山こと西宮市前市長である河野氏の浪曲「佐倉義民伝」より「甚兵衛渡し」で公演の幕が上がりました。



音楽劇「眠り姫」を熱演

他にも「うわおー！西宮」さんからは、狂言「蝸牛」や音楽劇「眠り姫」そして、「スイング西宮♪」と題した音楽コンサートを上演いただきました。ここ梶原町からは、文化協会の各サークルから日本舞踊、ギター弾き語り、フラダンス、コーラスを披露いただきました。

梶原では、なかなか触れることのない、芸能文化が間近で見られる貴重な機会となりました。出演者の方のパフォーマンスに

観客は大いに盛り上がり、笑いや感動に包まれました。

ステージの最後には「今日の日はさようなら」を出演者全員と会場の観客の方の皆さんと一緒に歌い、会場が一つにまとまりました。

今回のこの公演で、梶原町と西宮市の絆を深めることが出来ました。今後とも両市町の文化が発展することを願っています。



笑顔が素敵なフラダンス



体験合宿 (梶原学園4年生)



上手に波乗り

梶原学園4年生24名が8月2日(水)から5日(土)までの3泊4日の日程で、幡多青少年の家で体験合宿を実施しました。この合宿は、野外活動や共同生活において自主的に行動し、みんなで協力しあって楽しい合宿にすることを目標に取り組みました。

8月2日(水)

1日目は、多くの保護者が見送る中、12時にバスで幡多青少年の家を目指して梶原学園を出発しました。長時間の移動でしたが、無事に到着し、入所式を終え、みんなでベッドメイキングをしました。

夕方には青少年の家の研修室で、班ごとに合宿の目標を決めたり、フルーツバスケットを行いました。初日の夜とあって、わくわくしてなかなか寝ない児童もいましたが無事に初日を終えることができました。

8月3日(木)

2日目は、朝6時30分に起床して、朝の集いに参加し、国旗掲揚やラジオ体操、研修団体紹介を、眠い目をこすりながら行いました。

午前中は、防災学習をしました。地震の勉強や、空き缶で缶ストープを作りました。みんな使い慣れていないカッターやキリに苦戦しながら懸命に頑張って作っていました。作った缶ス

トープでお湯を沸かして防災食を美味しくいただきました。

台風の影響で2日目と3日目の午後の予定を入れ替え、スキムボードを行いました。波打ち際の小さな波でみんなコツをつかんでボードに乗っていました。

晩ご飯は野外炊飯でカレーを作りました。野菜を切る係や火をおこす係など分担しておいしいカレーができました。食べた後の片付けは青少年の方の厳しいチェックがあり、なかなか合格できませんでした。最後までごしごしと洗って全部の班が合格できました。活動がたくさんあって疲れていたのに、2日目はみんな早く寝ていました。

8月4日(金)

3日目は、ブーメランを作成しました。きれいに飛ばせている人やなかなか上手く飛ばせない人がいましたが、体育館で元気に活動しました。

昼からはシーカヤックの体験をしました。3人1組で一艇に乗り、声を合わせて進んでいました。風があり、思い通りに進むのは難しかったですが、頑張る力を合わせて漕いでいました。

晩ご飯はバーベキューです。火をおこしてうちわで扇いで火を炭につけました。その後の片付けでは、昨日のこ



シーカヤック中



おいしいBBQ



キャンドルサービス

とを生かして、どの班も一発で合格を
 もらうことができました。
 予定していたキャンプファイヤーは
 風雨のため、予定を変更し、室内でキャ
 ンドルサービスを行いました。火の神
 が登場し一段と楽しい集いとなりまし
 た。

8月5日(土)

いよいよ最終日、4日間お世話に
 なった部屋を片付けて、班のみんなで
 協力をし、4日間の思い出を新聞にし
 ました。

昼ごはんを食べた後は、バスで梶原
 町へ帰ってきて、ゆすはら・夢・未来
 館で解散式を行いました。4日間の思

い出を家族の方へ話しながらどこか
 ホットとした表情で、各家庭へ帰って
 きました。

今回の体験合宿では、台風も接近す
 る中、雨が降ったり降らなかったり不
 安定な天気でしたが、予定の活動を全
 て行うことができました。4年生の児
 童は、親元を離れての宿泊活動を初め
 て体験する子が多く、最初は不安そう
 な顔をしている児童もいましたが全員
 が大きなケガや病気もなく笑顔で帰っ
 てくることができました。

梶原を離れて、友達との共同生活や
 海での活動を通じて一段と成長するこ
 とができたのではないかと思います。



桃源だより

No.23

よさこいクラブ 梶原
(梶原町老人クラブ連合会)

梶原町老人クラブ連合会総会

4月14日(金)

ゆすはら・夢・未来館

○平成28年度事業報告及び

決算報告・監査報告

承認

○平成29年度事業計画・予算案

承認



平成 29 年度梶原町老人クラブ連合会総会

窪川 G G 愛好会招待交流大会

4月27日(木)

四万十町民グラウンド

連日の雨でグラウンドは軟弱でしたが、日ごろの練習の成果を発揮して、多くの方がホールインワンを!!そして他地区の会員とも交流を図ることができました。



四万十町にてグラウンドゴルフ大会

梶原連主催第六回元氣ハツラツ交流会

8月24日(木)

高知市春野

第六回元氣ハツラツ交流会出演 坂本龍馬脱藩の郷から『南国土佐を後にして』をイメージしての踊りを披露しました。



袴姿で『南国土佐を後にして』を踊りました

梶原学園児童とのスポーツ交流会

8月25日(金)

旧梶原小体育館

老人クラブが使用の用具を利用して、六種目にて交流。楽しく元気な時間を過ごしました。



梶原学園の皆さんとスカットボール

- 4月4日(火) 梶原町老人クラブ第1回 役員会
- 4月8日(土) 町主催によるカプセル埋設行事(梶原町老人クラブ結成50年誌等埋設)
- 4月14日(金) 町老人クラブ連合会総会 <ゆすはら・夢・未来館>
- 4月18日(火) 高知県老人クラブ連合会事業計画等説明会
- 4月27日(木) 窪川GG愛好会招待交流大会 <四万十町グラウンド>
- 6月19日(月) 奉仕作業 学園附近の草刈り作業参加
- 6月28日(水) 高幡地区老人クラブ連合会総会 <津野町>
県老連主催地区別介護予防研修会 <津野町>
- 8月17日(木) 高幡地区老人クラブ理事会 <須崎市>
- 8月24日(木) 県老連主催元気ハツラツ交流会 <高知市>
- 8月25日(金) 梶原学園児童とのスポーツ交流会 <旧梶原小体育館>

- 9月8日(金) 高幡地区若手高齢者スポーツ交流大会 <四万十町>
- 9月中旬 ふれあい訪問
- 10月 県老連2017“集え！競おう！ろうれんピック2017” <黒潮町>
- 11月 高幡地区老人クラブ連合会体育大会 <梶原町>
高幡地区老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会 <四万十町>
高幡地区老人クラブ芸能大会 <四万十町>
- 12月 高幡地区老人クラブ会長会 <須崎市>
- 2月 梶原町老人クラブ老人大学 <ゆすはら・夢・未来館>
- 3月 梶原町老人クラブ <ゆすはら・夢・未来館>

※日程の決まっていないものは決定次第お知らせします。多数の方のご参加お願い申し上げます。

平成29年9月
平成30年3月の
予定事業について

梶原町農業委員及び

農地利用最適化推進委員が

任命されました

●梶原町農業委員

- 山本 正澄 会長 <東町>
- 森田 呂弥 会長職務代理 <井の谷>
- 谷川 恵美 <中の川>

●農地利用最適化推進委員

- 沖田 孝幸 <田野々>
- 中平 勝也 <東川>
- 上田 善啓 <仲洞>
- 岡林 勝 <竹の藪>
- 高橋 正知 <下折渡>

【問合せ】

梶原町農業委員会事務局

(産業振興課内)

☎ 65-12250

農業委員会等に関する法律の一部改正により、農業委員の選出方法がこれまでの「公選法」から、町長が議会の同意を得て任命する「任命制」となりました。梶原町農業委員会委員の任期満了に伴い、改正法の下で、新たな農業委員が7月20日に任命されました。

また、人・農地のマッチングと農地利用の最適化を推進するために農地利用最適化推進委員が委嘱されました。任期は平成29年7月20日から平成32年7月19日までの3年間です。

農業委員会では、農地の権利移動の許可、農地転用の意見送付、農地の利用状況調査などを実施しています。

農地の売買や貸借、農地を農地以外に転用する場合には、梶原町農業委員会までお問い合わせください。



平成29年度 介護職員初任者研修を終えて

近年、中山間地域では高齢化が進み、介護サービスの需要が高まってきています。しかし、介護サービスの提供側である介護に従事する人が減少しており、十分な介護サービスを受けられない方がいらつしやいます。梶原町も例外ではありません。

そのような現状を踏まえ、本町では介護人材の育成及び永続的な人材確保を図ることを目的に、平成23年度より「ホームヘルパー養成事業」を実施しています。本事業の実施主体は、訪問介護事業所である「四国部品(株)介護サービス(なごみ)」に担っていただいております。実習先として社会福祉法人カールスト会にご協力いただいております。講師の方々も、保健師や社会福祉士、介護福祉士、梶原病院の医師・看護師など、自分の経験を織り交ぜた分かりやすい講義をしていただきました。また、町としても通常10万円〜15万円ほどかかる受講費用を全額負担し、受講しやすい環境となるよう支援して

ます。

「ホームヘルパー2級」は、平成25年度に「介護職員初任者研修」という名称に変更され、介護に関する全面的な知識や技術を習得できるようにになりました。平成27年度から津野町と合同で開催することとなり、平成23年度に始まったから昨年度までに56名が受講されました。

今年度も夏休みを利用した短期コースを7月24日(月)から8月28日(月)の日程で開催しました。受講生の募集は部落回覧にて行い、4名の方(内、梶原高校生1名)から申込みがありました。津野町からも1名の方から申込みがあり、全体で5名の方が受講されました。

少ない人数ながらも、一人ひとりしっかりと目的を持って取り組んでおり、活気溢れる研修となりました。8月28日の閉講式では、四国部品(株)より修了証明証が授与されました。

「介護職員初任者研修」の対象者は、梶原高校生若しくは町内に住所を有する方であって、将来、介護職への就職を希望されている方です。

平成30年度には、複合福祉施設の開所も予定されており、梶原町の介護サービスの提供も充実したものとなっていく予定です。今後におきましては高齢化に伴い、サービスを利用される方は増加傾向にあり、今後も更なる介護サービスの充実が求められています。

今回、受講された方々が研修を通じて介護の実態を感じ、梶原町で活躍されることに期待します。また、今回受講できなかった方も、この記事を読んで興味を持っていただければ幸いです。

【問合せ】

保健福祉支援センター

介護保険係



修了された皆さん



講習風景

第41回全国高等学校 総合文化祭での上演

梶原高校では総合的な学習の時間の選択授業として、地域に千年以上伝わる伝承芸能、津野山神楽の習得に取り組んでいます。梶原ディスカバークラブは、8月2日（水）、宮城県で開催された第41回全国高等学校総合文化祭に参加してきました。

この大会は文化部のインターハイともいえるもので、吹奏楽部や演劇部、新聞部など、全国の高校生がこれまで取り組んできた文化活動を披露し、その優劣を競うものとなっています。

本校は郷土芸能部門（伝承芸能）の高知県代表として、この大舞台上に臨みました。演目は津野山神楽から「山探し」を選択。津野山神楽保存会の方の指導のもと、参加人数12人で日々練習に励んできました。

総合的な学習の時間は二週間に一回の割り振りになっていて、普段の授業だけではとても大会で披露できるほどの練習ができません。平日の放課後、夏休みに入ってから夕方から二時間程

度、ほぼ毎日神楽保存会の方の協力を仰ぎ、熱心な指導をしていただきました。

練習場所は高校の格技場であり、夏は熱がこもってサウナ状態になるのですが、そんな暑さの中でも生徒たちは手を抜くことなく練習に励みました。

大会では入賞することはできなかったものの、舞台上では堂々と演じることができ、会場からは大きな拍手をいただきました。同行してくださった津野山神楽保存会の西村建雄さんからも、これまでで最も完成度の高い演技ができたとおほめの言葉をいただき、生徒たちの大きな自信になりました。その後も高原まつりの前夜祭などで上演することができ、本祭では全国大会の報告をする場もいただきました。

保護者や地域の皆様におかれましては温かい応援本当にありがとうございました。3泊4日という長期間の滞在が可能となったのも、皆様の大きな支援あってのこ

とであります。忙しい時間を割いて後援会に足を運んでくださった保護者の方々、物心両面にわたって多大な協力をいただいた津野山神楽保存会の方々、多くのご寄付をいただいた地域の皆様、厚く御礼申し上げます。

これから秋にかけて、様々な地域の行事に参加させていただきま。11月18日には高知県高等学校総合文化祭、25日には梶原高校の文化祭で神楽を披露することになっていきます。今後ともディスカバークラブの更なる活躍のために、活動へのご理解、ご協力を何卒よろしく願います。



『山探し』を披露する梶原ディスカバークラブの出演メンバー

10月の行事予定

- 8日(日) 第6回龍馬脱藩マラソン
- 9日(月) 体育の日
- 10日(火) 女性検診
- 11日(水) 女性検診
- 12日(木) 女性検診

- 14日(土) 環境整備デイ
- 18日(水) 人権相談・行政相談
- 20日(金) 梶原町交通安全の日
- 21日(土) 芸術祭
- 22日(日) 芸術祭

行かなきや 女性検診 (乳がん・子宮頸がん検診)

女性検診は2年に1度が対象です。

梶原町の集団女性検診を10月に実施します。女性検診は2年に1度の対象になっていきますので、この機会にぜひ受診しましょう。

今年度偶数年齢に達する方が対象となります。(平成29年4月1日～平成30年3月31日の間)

子宮頸がん検診

20歳以上で、今年度偶数年齢となる方。

※子宮頸がんは医療機関での個別受診が可能です。事前に受診券が必要ですので支援センターにご連絡ください。

乳がん検診(マンモグラフィ)

40歳以上で、今年度偶数年齢となる方。

※社会保険加入の方で、職場の検診等で乳がん検診を受けられなかった方も検診を受けることができます。

女性検診(集団)日程表

日時	受付時間	場所	対象地区
10月10日(火)	8:30~15:30	和田城	四万川区・西区
10月11日(水)	8:30~15:30		東区・初瀬区
10月12日(木)	8:30~11:00		越知面区・松原区
申込み方法	地区の推進員さんに申し込み又は、直接支援センターまでお申込みください。 ※対象外の方も自費で受診することができます。		

※乳がん検診(マンモグラフィ)はレントゲン検査です。妊娠中の方や可能性のある方、授乳中の方、ペースメーカー装着の方等受診できない場合があります。詳しい内容については保健福祉支援センターまでご連絡ください。

20歳からしっかり受けよう

子宮頸がん検診

子宮頸がんとは、子宮の出口部分にできるがんのことで、ヒトパピローマウイルス(HPV)による感染が主な原因とされています。HPVは性交渉により感染するウイルスのため、他のがんと違い、20歳～30歳代から発症者が増加します。

■早期のがんは、ほとんど自覚症状がありません。定期的な検診によってがんになる前の状態で見つけることができれば、子宮を残して治療することもできますし、妊娠、出産も可能です。

■検査は子宮の入り口の細胞をとって検査します。前がん病変やがん細胞がないかを確認します。

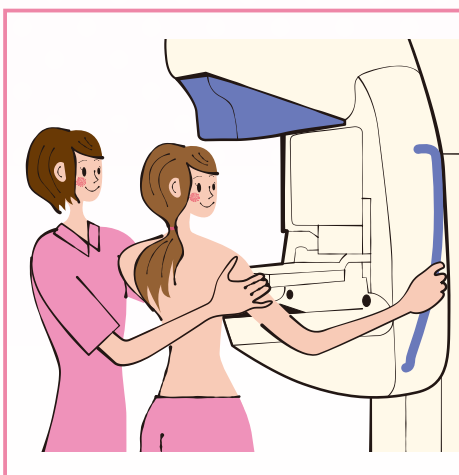
40歳を過ぎたら乳がん年齢

乳がんは、高知県の女性にもっとも多いがんです。近年、乳がんにかかる人や乳がんで亡くなる人が増えています。

■若い年齢で発症するのが特徴で、30歳代から増え始め、40歳代になると急カーブで増加します。初期の頃は、自覚症状がほとんどありませんが、そのまま放置していると全身に広がっていきます。

マンモグラフィ (乳房X線検査)について

マンモグラフィ撮影では、乳房を左右片方ずつ、フィルム台とプラスチック板ではさみ、圧迫してレントゲン撮影します。乳房の圧迫は多少の痛みを伴う場合もあります。ホルモンの関係で乳房が張って痛む場合もあるので、生理が始まってから2～3日目以降に受けると良いでしょう。



精密検査が必要と言われたら、必ず検査を受けましょう。

【問合せ】

保健福祉支援センター

健康増進係

☎ 0889-65-1170

梶原学園だより VOL.63

梶原招待野球準優勝！

7月29(土)、30日(日)の2日間に12チームが梶原招待野球に来て、優勝を目指して、素晴らしい試合をしてくれました。どのチームもとても暑い中、チームの勝利のために頑張る姿が見られました。梶原中学校は、2回戦からの登場で、初戦は久礼中、準決勝は佐川中に勝利し、決勝に進みました。決勝では十川中と対戦し、5回までは一対一でしたが、6回に点を取られ、惜しくも準優勝となりました。



ヒットを放った長谷部稜馬君

梶原高校の高校野球準優勝に大きな影響を受けた梶原中学校軟式野球部は、野球に対する姿勢が変わってきたと思います。選手は、

一戦一戦、上手になる姿が見られて、とても良い試合でした。

今、梶原は野球(スポーツ)の大きな風が吹いてきていると思います。みんなこの風に乗って、成長していきましょう。

暑い中審判をしてくれた方、お手伝いに来てくれた梶原高校の皆さん。運営をしていただいた保護者の方々の協力でこのような素晴らしい大会ができたと思います。本当にありがとうございます。そしてお疲れ様でした。



準優勝の梶原学園ナイン

県総合体育大会の報告

7月22日(土)〜24日(月)の3日間、第71回高知県中学校総合体育大会が行われました。本校は女子バスケットボール、男女剣道が出場権を得て参加しました。

女子バスケットボール部は初戦から強豪の横浜中学校と対戦し、善戦はしましたが、26対66で敗退しました。



声を掛け合って！ 団結！

剣道部は、男子は土佐中に1対3で、女子は介良中に0対4で初戦敗退でしたが、最後まで前に出る姿を見ることができました。また、先に試合が終わった女子が男子を応援



お願い！

援する姿が印象的でした。試合で学んだことは多かったと思います。その学んだことをこれからの練習に生かして、次の大会に挑んでください。

高原まつりに参加しました！

8月15日(火)小学校の児童は、高原まつりのよさこい踊りに参加しました。当日は、雨が降ったり、止んだりと天候とにらめっこの状況で参加を危ぶみましたが、なんとか無事に最後まで踊りきることができました。梶原町のメインストリートを元気よく踊った子どもたちです。沿道からの観客の多さが子どもたちのやる気を後押ししました。



梶原学園踊り子隊

梶原こども園だより

親育ち講演会

「今日から始めよう！子どもの生活リズムの向上」

8月8日(火)にPTA活動による講演会がありました。主に、子どもたちの生活リズムの向上のために「食べて・動いて・よく寝よう！」というテーマで早稲田大学教授・医学博士の前橋明先生にお話していただきました。



前橋先生による講演会の様子

最近では、夜10時、11時になっても大人と一緒に居酒屋にいる子どもを見るそうです。都会にはキッズスペースがある居酒屋もあり、何がいいのかもわからなくなっている時代だということでした。子どもの生活リズム

を大人の都合に合わせていると、規則正しい生活リズムは身に付きません。

朝は活動が始まる2時間前に起き、乳幼児は午後8時を目安に寝ると良いそうです。睡眠時間は10時間が良く、早寝早起きのリズムがつくと日中外で元気がよく遊べる子になります。10時間程の睡眠時間を取らないと、注意集中ができなかったり、イライラしたり、ジツとしていら

れない等の症状が出てきます。朝は元気がないのに夜になると元気になり遅くまで起きている子もいたりします。夜なかなか寝てくれないからといって、寝さそう寝さそうとするのではなく、朝の光刺激を受けて目を覚まし

たり、日中の運動刺激で夜、寝られる身体作りが大事だということとです。睡眠不足だと、運動能力にも差が出てきます。

また基本的な生活習慣の中には、早寝早起き朝ご飯が大事だと言われていますが、朝の排便も子どもたちが一日を気持ちよくスタートし、安心して元気に活動

できるようです。3歳までは排便習慣がつきにくいけれども、トイレに行って座ってみる習慣を付けることが大事です。自発的・主体的に行動しようとする意欲作りのためにも、汗をかき運動や外遊びをして、体温を上げ自律神経の動きを良くしていきましよう。一気にやろうとせず、これだけ是可以というところを生活の中で一つ見つけて取り組んでいくことが大切です。

園でできることは取り入れて、家庭と連携しながら規則正しい生活リズムが乳幼児期に身に付き、小学校へ上がった後も続けていってほしいと思います。規則正しい生活リズムは、子どもの意欲や学力・体力の向上・情緒の安定につながってきます。

ブルーベリー収穫

後別当部落の方々から声をかけてもらい、8月18日(金)にぞう組の子どもたちがブルーベリーの収穫に行ってきました。

後別当部落は中山間地域の事業として国から補助をもらい、ブルーベリーを育てているそうです。ブルーベリー畑に着くと、採り方や食べられるブルーベリーの色(紫色)を教えてくださいました。たくさんブルーベ

リーが実っており、子どもたちは嬉しそうに収穫していただきました。「あまいね」「おいしいね」と話をしながら喜んで食べたり、大事そうにペットボトルの入れ物に入れたり、たくさん収穫することができました。なかなかできない体験をさせてもらい、良い経験となりました。



甘くておいしいね！



おいしそうなの見つけたよ！

芸術祭の作品を募集します！

皆さん、芸術祭に作品を出展してみませんか？力作をお待ちしております！

募集作品

毛筆、絵画、手工芸、写真など

展示日程

10月21日(土)～22日(日)

▼搬入日：10月20日(金)

▼搬出日：10月23日(月) 午前中

【問合せ】

梶原町教育委員会生涯学習課

〒785-0695

梶原町梶原1629番地

☎0889-65-1350

「高知広域連携中枢都市圏

ビジョン(案)」の意見を募集します

現在、高知市を中心に高知県内全市町村で、人口減少・少子高齢社会でも一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するため、の拠点づくりを目的とした、「連携中枢都市圏」形成の協議を進めており、梶原町も一緒に取り組んでいく予定です。

この連携中枢都市圏において圏域が目指す将来像や、今後5年間(平成30～34年度)の具体的取り組み等を記載した「高知広域連携

中枢都市圏ビジョン」を策定することとしており、ビジョン(案)について、町民の皆様の意見を募集いたします。

募集方法等

ビジョン(案)を平成29年10月3日(火)から梶原町企画財政課で公開、配布します。また、梶原町ホームページにも掲載します。

募集期間

10月3日(火)～10月27日(金)必着提出先

〒785-0695

高知県高岡郡梶原町

梶原1444番地1

企画・定住対策係

E-mail

12-yusuhara@town.yusuhara.lg.jp

企画財政課 企画・定住対策係

〒785-0695

高知県高岡郡梶原町

梶原1444番地1

企画・定住対策係

FAX 0889-40-2010

※ご意見は日本語の文章で提出してください。

※住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送・ファックス・電子メール・役場へ持参のいずれかで提出してください。口頭及び電話での提出は不可としています。

書式の定めはありません。

※ご意見は日本語の文章で提出してください。

※住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送・ファックス・電子メール・役場へ持参のいずれかで提出してください。口頭及び電話での提出は不可としています。

書式の定めはありません。

※ご意見は日本語の文章で提出してください。

※住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送・ファックス・電子メール・役場へ持参のいずれかで提出してください。口頭及び電話での提出は不可としています。

書式の定めはありません。

※ご意見は日本語の文章で提出してください。

※住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送・ファックス・電子メール・役場へ持参のいずれかで提出してください。口頭及び電話での提出は不可としています。

書式の定めはありません。

後期高齢者の被保険者の皆様へ

後期高齢者医療の被保険者の方は、歯、歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックし、誤嚥性肺炎等の口腔機能低下の予防をするため、年1回無料で歯科健康診査を受診できます。

期間

10月1日(日)～2月28日(水)

※ご希望の歯科医院に電話予約をしてから健診を受けてください。

前年度75歳到達者(昭和16年4月1日～昭和17年3月31日生まれの方)には、受診券を事前に送付致します。それ以外の方は、申込みにより受診券が発行され健診を受けることができます。詳しいことは、左記までお問い合わせください。

注意事項

◎受診券が必ず必要です。発行には1週間位かかりますのでお早目にご連絡ください。

◎契約している県内の歯科医院で受診できます(県外の歯科医院は対象外です)。

○梶原町保健福祉支援センター

医療保険係・健康増進係

☎65-11170

○高知県後期高齢者医療広域連合

☎088-821-4526

青年海外協力隊事務局募集課

☎03-5226-19813

JICA四国または

9月29日(金)～11月2日(水)

募集期間

※日本国籍を持つ人

対象

①満20～39歳

②満40～69歳

(2017年4月1日時点)

①青年海外協力隊/日系社会青年ボランティア

②シニア海外ボランティア/日系社会シニア・ボランティア

あなた自身の技術・経験を開発発展途上国で生かしてみませんか？

現地の人々と協働しながら、人づくり、国づくりに協力します。

JICAポランティア募集

あなた自身の技術・経験を開発発展途上国で生かしてみませんか？

現地の人々と協働しながら、人づくり、国づくりに協力します。

無料合同労働相談会を開催します

解雇、パワハラ、賃金未払いといった職場の問題でお悩みの方を対象に、国や県などの労働相談機関が合同で無料相談会を開催します。

当日は、弁護士、社会保険労務士、司法書士といった専門家が面談又は電話にて相談をお受けします。事業主の方も相談できますのでお気軽にご相談ください。

相談日時

10月27日(金) 10時～19時

面談場所

高知県北庁舎

(高知市丸ノ内二丁目四一)

※受付は、四階 高知県労働委員会事務局で行います。

相談ダイヤル

☎088182114661

(当日専用)

相談は事前予約優先、先着順となります。

【予約申し込み・問合せ】

☎088182114645

予約受付期間

9月27日(水) 9時～

10月26日(木) 12時

平成32年オリンピック・パラリンピック 東京大会開催テロ未然防止にご協力を!

平成32年にオリンピック・パラリンピック東京大会が開催されます。

オリンピック等の大規模行事は、世界的に大きな注目を集めることから、テロの恰好の攻撃対象とされる可能性があります。

高知県では、テロの未然防止に向け、

○テロリストを入国させない

○テロリストの拠点をつくらせない

○テロを起こさせない

という基本方針の下、県民の皆様や各自治体、民間企業、関係機関等と連携したテロ対策に取り組んでいます。

県民の皆様が日ごろの生活の中で不審人物や不審物等を見かけた場合には、警察に通報してください。警察に通報していただくよう皆様のご理解と協力をお願いします。

※通報は「110番」または最寄りの警察署まで

【問合せ】

須崎警察署

☎088914210110

寄付のお礼

このほど、次の方からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

広報へのご寄付

梶原 和矩様 (横須賀市)

上田 徳吉様 (愛知県津島市)

西元 博彰様 (大田区)

その他のご寄付

中越 朗夫様 (東川)

故・中越文太郎氏逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ

上田 政志様 (宮野々)

故・上田昭一氏逝去に伴う香典返しとして町勢発展へ

中越 忠男様 (高知市)

故・中越則子氏逝去に伴う香典返しとして福祉施設運営へ

編集後記

長い夏休みも終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。子どもたちはこの休みをどう過ごしたでしょうか。

4年生の幡多青少年の家での体験学習の様子が掲載されています。普段とは違う環境での生活に戸惑いながらも、いきいきと楽しく活動しています。きつと思いつきにやる時間になったことと思います。またこの夏は、梶原高校野球部の活躍があり、町内が大いに盛り上がりました。野球大好きな子どもたちにとっては、夢が大きく広がりました。

二期期がスタートしたと思ったら、運動会の練習や準備にすぐに取り掛かり、一生懸命取り組みました。そしてまた次の行事へと進みます。熱中できることがあれば心配はありません。しかし新聞にも夏休み明けは不登校や自殺も多いと掲載されていました。心に悩みを抱えている子、言いたいことが言えずに困っている子、登校がしんどい子はいないでしょうか。

子どもたちの身の回りにいる人は、常に子どもと向き合い、そして話をし、話をよく聴いてあげてほしいです。子どもは、寄り添って欲している人がそばにいてくれるだけでほっとします。

秋はすがすがしく、抜けるような青空のもと、笑顔いっぱい元気な子どもたちの声が響き渡ってほしいものです。

〈広報編集委員会〉

文芸



えぼし俳句会

盆踊り闇をすくいて闇払う
瀬戸口登責恵

送り火を見つめる祖父の背の丸し
西村 智子

うろこ雲移動スーパードリ
千光寺昭子

溽暑抜け山の谷水掬ひけり
岩元 美美

肩寄せて屈まる子等も門火の輪
古野 節子

料理本に孫のらくがき鳳仙花
下元 澄子

八十路とて会えば青春夏の菊
ヒネ・パンビ

送り火の終りし闇にいつまでも
宮崎真由子

子別れの鴉の叫び雲の峰
宇都宮由利子

くちなわの忍者さながら鶏小屋へ
中越 律子

鳳仙花父母と暮した庭の辺に
岩井 章子

杉の子俳句会

母の里西瓜をひやす筧水
影浦 鉄心

八月や軍歌聞きつつ兄徳ぶ
下元 廣幸

終戦日七十余年その先は
野中 胤雄

思い出がゆるりと回る扇風機
川田 早苗

沈下橋屈んで渉る盆の月
掛橋 初子

昔はね指でポンポン西瓜買う
明神伊沙子

線香の煙くゆらし田岸刈る
西村 幸枝

ちぐはぐに百歳体操我が手足
大崎みなと

雨上りかなかな鳴いて夕支度
内野 純子

立ち話早く切り上げ炎天下
氏原 陽子

野球部の活躍に沸く夏の町
西村 蓉子

夜明けまで犬抱みてをり稲妻す
久岡 智子

杉の子俳句会
四万十川の瀬音かすかや天の川
広瀬 みえ

スタンドは総立ち拍手燃ゆる夏
西村由利子

川柳

渓谷の空悠々と銀河なり
中越 郁子

ポツポツとペットボトルへ苔清水
西森 誠子

ふるさとの空を彩る銀河かな
中平 忠雄

水音や小さき下駄の金魚つり
渡辺 瑞枝

天の川今年には会えると祈りつつ
中越 緑

新盆の挽歌終りて人こいし
中越 秋子

銀河澄むたこやきの香をまといつつ
吉田 敬子

入道雲純白の目の四才児
広瀬 卓雄

狂歌

う、うちのーのつちよったぜよ孫の句が
津野公はこの地移住の元祖です
定まらぬ風に首振る風車
ゆす原人々

早々に警告うけしチーム有り
傲慢ゆえかはた又無知か
難問を抱かえし町の首長選
勝ちが勝ちやら負けるが勝ちか
ゆす原人々

●おめでた

住所	氏名	性別	出生年月日	保護者
太田戸	岡田 佳也 <small>よしなり</small>	男	H29.8.3	岡田泰弘
飯母	佃 瑚心 <small>こころ</small>	女	H29.8.14	佃 浩治

●ご結婚

届出時の住所	夫婦氏名	婚姻日
川西路 川西路	夫 片岡 亨 介 妻 西村 知 佐	H29.8.28

●おくやみ

住所	氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
東川	長山 福儀	男	H29.8.9	86	本人
上西の川	松田 峰子	女	H29.8.29	85	本人

※出生・死亡・婚姻については個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

日本初！ 移動式解体処理車 納車



8月12日(土)、日本初となる獣肉の移動式解体処理車が梼原町に納車されたことを記念し、役場庁舎前にて納車式典が開催されました。

この車は、一般社団法人日本ジビエ振興協会と長野トヨタ自動車株式会社(長野市)が共同開発した特殊車両で、現在、集落活動センター「ゆすはら西」が計画を進めている解体処理施設と合わせて一体的に運用することで町内全域で捕獲されるイノシシ、シカをより有効に活用していくために町が導入しました。

納車式典は、山本有二・前農林水産大臣をはじめ、約60人の関係者の出席のもと盛大に開催され、矢野町長は式典挨拶の中で、「この車を利用して、山に捨てていた資源をお金に換えビジネスとして成立させることで、地域の雇用が生まれる。このことが地方創生にもつながる。この仕組みを梼原町で成功させ、全国に発信していきたい」と述べられました。

近年、町内では年間1500頭に及ぶイノシシ、シカが捕獲されていますが、そのほとんどは有効活用されていない状況です。その理由として、法令に基づいた処理施設がないことありますが、町

内の広範にわたる捕獲鳥獣をどのようにして食肉利用可能な状態で運搬するかということにありました。移動式解体処理車はまさしくその問題を解決するための車で捕獲現場のそばまで出向き、適正な処理を行うことを可能としています。

式典同日には、林野庁四国森林管理局と町、梼原町猟友会との間でシカ被害対策及びジビエ活用推進に関する協定も締結され、相互の協力関係の中でシカによる森林被害防止とジビエ活用を推進していくことが確認されました。

町では、この移動式解体処理車を、運用主体となる集落活動センター「ゆすはら西」に貸与し、町内全域で取り組みを進めて参ります。今後の試験運用や捕獲体制の確立においては、町民の皆様のご協力が不可欠となります。どうぞ皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

